

【報道関係各位】

2020年11月19日

三谷産業株式会社

三谷産業、富山大学経済学部にて寄附講義を実施

～ブランド戦略をテーマに、事例による学びの場を提供～

三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照、以下 三谷産業）は、11月17日（火）に富山大学経済学部において、北陸企業の実例を基に企業経営について学び、考えることを目的とする「経営学特殊講義」と題した寄附講義を実施しました。同大学における当社の寄附講義は2008年から開始し、本年度で13回目となります。

■本寄附講義について

三谷産業は、学生に在学中から社会や企業についてより深く理解してほしい、そして面白さを知ってほしいという思いから、富山大学と協力して2008年より寄附講義を開始しました。毎年の講義テーマは、当社と富山大学の教授とで議論を重ねて決定しています。さらに、学生には複数の企業の実例を通して、同じテーマでも多様な見方・考え方があることを感じてもらうために、北陸地区の他の企業にも協力を仰ぎ、本年は6社に協力いただきました。

■「事例で学ぶブランド戦略」をテーマに

本年度の講義は「事例で学ぶブランド戦略」を統一テーマとしました。全8回の講義において、学生がブランド戦略への理解を深められるよう、さまざまな業界や企業規模の各社の実例をリレー形式で紹介しました。

今回、三谷産業からはB to B企業におけるブランド戦略について講義を提供しました。具体的には、Webサイトリニューアル時にブランディングの観点で意図した工夫、自社に根づく価値観や哲学に一貫した広報活動を展開すること、またそれが対外的なブランドイメージ形成だけでなく社員のエンゲージメントの向上にも寄与することを紹介しました。

講義の中で、ブランド戦略において大切なことは「自社の大切にしている価値観や強みを再定義し、ブランドアイデンティティに則り行動すること、さらにそれを適切に表現することを通して、社員をはじめお客さま、株主さま、地域の皆さまからの信頼を得ることが重要であり、またこのサイクルを回していくことでブランドを育てていくことができると考えます」と説明しました。

三谷産業では本講義の他にも、北陸地区の大学・高校での寄附講義の実施やインターンシップの受け入れなどを行っています。当社は今後も、次代を担う若手人材の育成に積極的に取り組んでまいります。



講義風景

【三谷産業グループについて】 <https://www.mitani.co.jp/>

石川県金沢市で創業して 92 年、ベトナムで創業して 26 年の複合商社です。北陸、首都圏、ベトナムを地盤に、化学品／情報システム／樹脂・エレクトロニクス／空調設備工事／住宅設備機器／エネルギーの 6 セグメントで事業を展開しています。商社でありながら、時にメーカーとして、また時にコンサルタントとして、お客様にとっての最適を追求するとともに、「創業 90 年を越えるベンチャー企業」として更なる進化へと挑戦しています。

2020 年 3 月期：連結売上高 77,595 百万円／連結従業員数 3,355 名

<本件に関するお問い合わせ先>

三谷産業株式会社 コーポレート本部 経営企画部 PR 企画課

TEL： 03-3514-6003 （担当：木下）